

中国農業における産地形成と特産化

大島一二（桃山学院大学経済学部）

Production Area Formation and Specialization in Chinese Agriculture

At the Central Rural Work Conference, held at the end of each year in China, addressing the “three agricultural issues” (which refers to agriculture, rural and farmer issues) has been a major agenda for quite some time.

Agriculture and rural development through investment in agricultural infrastructure (construction of irrigation water, maintenance of agricultural machinery, development of agricultural land base, etc.) and rural infrastructure (compulsory education of rural areas, assistance of poor farmers, cooperative medical treatment in rural areas), and achievement of increased farmers’ income has been emphasized. Given these facts, it is thought that China will increasingly invest in agriculture and rural areas.

As part of these investments in agriculture and rural areas, emphasis has recently been placed on promoting the formation of agricultural production centers. Concentration of production and development of specialization through the formation of agricultural production areas are important conditions for agricultural development and economic development in rural areas and will continue to be emphasized.

キーワード 中国農業、産地形成、特産化

Keywords Chinese agriculture, production area formation, specialization

1. はじめに（注1）

中国で毎年年末に開催される中央農村工作会議においては、10年以上の長期間にわたっ

（注1）本稿は、桃山学院大学共同研究プロジェクト（19連272）「香港フードエキスポを活用した地域産業の活性化に関する研究－地域ブランドの輸出促進と産学官連携－」による研究成果の一部である。

て農業・農村工作の重点として「三農問題」（農業・農村・農民問題を指す、農村と都市、農民と非農民との経済格差の拡大問題等）への対処が大きな議題として取り上げられてきた。具体的には、農業インフラ（水利建設、農業機械整備、農地基盤整備等）・農村インフラ（農村義務教育、貧困農家の扶助、農村合作医療）への投資による農業・農村発展、さらには農民増収の達成が強調されてきた（注2）。「三農問題」への対処は、これまでもたびたび掲げられているが、これをさらに拡充して実施することが強調されている。こうしたことから、中国においては、今後ますます農業・農村への投入が強化されるものと考えられる。

これらの農業・農村投資の一環として近年重視されているのが、農産物の産地形成の促進である。農産物の産地形成による生産の集中化と専門化の進展は、農業発展と農村の経済発展（いわゆる「村おこし」）の重要な条件であり、今後もますます重視されることとなる。現実には、後に詳述するように、中国政府は農産物の産地形成に関わる重要な政策を次々に打ち出し、農産物の産地育成を促進しており、農村経済の振興、農業開発、地域開発の側面からもこうした動向は今後も加速するものと考えられる。

また一方で、日本・香港・韓国・台湾・マカオ等の東アジア地域における農林水産物貿易は、中国を主要輸出国として大きな拡大を遂げ、これらの国・地域の食料の海外依存は深化してきた。この結果、日本等の東アジア各国・地域にとって、中国からの食料輸入は今後も比較的高い水準を維持するものと考えられ、今後も当分の期間において中国産農産物・食品への依存は継続されると予想できる。ここで、近年の中国の急速な農産物の輸出拡大は、当然のことながら中国各地の農業産地における、急速な農業生産力の向上を伴わなければならない、その背景には、前述した農産物の産地形成による生産の集中化と専門化の進展、さらには専門人材の育成が、その重要な構成要素となっていると考えられよう。こうしたことから、東アジア各国・地域において、中国農業の産地形成、特産化は重要な意味を有しているといえるだろう。

こうしたなかで、本稿の課題は以下の通りである。

- ①中国の高い農業生産力、とくに高い輸出農産物生産能力を可能とする農産物産地形成の実態を各作物別、地域別に明らかにすること。
- ②さらに、こうして形成された農産物生産基地の動向と課題を明らかにすること。

つまり、中国政府および中国の生産基地・輸出基地はどのように形成されているのか、はたしてこうした試みは成功しているのか、否か、この点も大きな論点となる。

2. 中国における農産物の産地形成にかんする政策と実態

（1）「全国農村経済・社会発展第11期5カ年計画」（「全国農村経済社会発展”十一五”規画」）に示された政策（注3）

（注2）「中央農村工作会議在京召開 全面部署 2008年農業和農村工作」中国農業信息网（<http://www.agri.gov.cn/>）2007年12月24日、から10年後の「中央農村工作会議在京召開習近平対做好“三農”工作作出重要指示」中国農業信息网（<http://www.agri.gov.cn/>）2019年12月24日、まで、ほぼ「三農問題」対策が提起されている。

（注3）『全国農村経済社会発展”十一五”規画』中国統計出版社 2007年9月 58ページ

2000年以降、中国農業の基本政策は、全国農村経済・社会発展第11期5カ年計画に示されている。この計画は、2005年10月11日に中国共産党第16期中央委員会第5回全体会議を通過した「中共中央關於制定国民経済和社会発展第十一個五年規画的建議」（中国共産党中央の国民経済和社会発展第11期5カ年計画制定に関する建議）（注4）および、その具体的政策である、2006年3月14日に第10期全国人民代表大会第4回会議で批准された「中華人民共和国国民経済和社会発展第十一個五年規画綱要」（中華人民共和国国民経済と社会発展第11期5カ年計画要綱）（以下「要綱」と略す）（注5）に基づいている。

この中で、本章の課題との関係でとくに注目されるのは、「要綱」の第二編の「社会主義新農村建設」の中の「現代農業の発展」の項である。ここでは、「第2節 農業構造調整の推進」において、「・・・農産物生産構造を高度化する。高い生産量、高品質、高効率、生態系に配慮し、安全な農産物を発展させる。その重点は、高品質の専用穀物品種、経済効率の高い経済作物、穀物節約型の畜産物、新たなブランド水産物の発展である。」とし（注6）、さらに、耕種部門において「・・・農業の地域分布を高度化する。黄淮海平原、長江中下流平原、東北平原においては穀物総合生産能力を高め、気候条件に適合した、経済作物生産地域帯および新たなブランドの熱帯作物生産地帯を建設する。」としている。

また、畜産部門については、「農業区および農業・畜産混在区における畜産業を発展させ、南方における山地畜産と西南の溶岩地域における草地型畜産業を発展させる。伝統的畜産地域における持続可能な生産を回復させ、水資源の不足地域では節水型農業を発展させる。」というものであった（注7）。

この全体計画のもとで、全国農村経済・社会発展第11期5カ年計画（以下「農村11期5カ年計画」と略す）が国家発展と改革委員会によって具体的な目標数値が計画された。また、この計画では「優良農産物生産帯」（重点産地）を以下のように指定している。

- ①高品質水稻産地：長江流域・東北地域。
- ②高品質専用小麦産地：黄淮海平原・長江下流、漢中平原、河套平原。
- ③専用トウモロコシ産地：東北地域・黄淮海平原。
- ④大豆産地：東北地域。
- ⑤高品質綿花産地：新疆ウイグル自治区・黄淮海平原・長江流域。
- ⑥アブラナ優良品種産地：長江流域。
- ⑦サトウキビ産地：広西チワン族自治区・雲南省・広東省・海南省。

ジ～80 ページ参照。

（注4）『全国農村経済社会発展“十一五”規画』中国統計出版社 2007年9月 3ページ～14ページ参照。

（注5）『全国農村経済社会発展“十一五”規画』中国統計出版社 2007年9月 15ページ～57ページ参照。

（注6）『全国農村経済社会発展“十一五”規画』中国統計出版社 2007年9月 20ページ参照。

（注7）『全国農村経済社会発展“十一五”規画』中国統計出版社 2007年9月 20ページ～21ページ参照。

- ⑧ ジャガイモ産地：甘肅省・内モンゴル自治区・寧夏回族自治区。
- ⑨ 熱帯・亜熱帯作物産地
- ⑩ 台湾との農業協力による合作事業の強化。

(2) 「全国農業と農村經濟發展第 1 1 期 5 カ年計画」（「全国農業和農村經濟發展第十一個五年規画」）に示された政策（注8）

前述した上位計画に基づいて、農業部は「全国農業と農村經濟發展第 1 1 期 5 カ年計画」を策定している。本稿との関係で注目されるのは、第三章 生産（地域）と産業分布、である。ここでは全国を大きく分けて 3 つの農業地域に分け、その地域分布を以下のように規定している。

① 「優先開発区」

「優先開発区」は主要農業開発地域として、自然条件に恵まれ、生産規模が大きく、他地域よりも産地として有利であるという条件を有している地域をさす。この地域は中国の主要な農業生産基地として位置づけられ、全体としての農業の生産向上と産地分布の高度化を推進するとされている。13 種 41 品目が対象となっているが、この具体的作物と産地分布は後述する。

② 「重点開発区」

新疆ウイグル自治区北部、東北地域の生産力が低い地域、黄淮海平原の畑作地域、華南熱帯作物地域、福建省沿岸地域、南方の山地草地地域等が含まれる。これらの地域は農業の潜在的開発能力が高く、生産条件の改善によって制約要因を克服し、総合的な農業生産力と競争力を向上させ、中国の農業生産の戦略的基地とすることが求められている地域である。

具体的な地域と改善方向として以下の点があげられている。

- a. 新疆ウイグル自治区北部においては、農業灌漑建設による用水問題の解決によって、中国の食糧作物の戦略的新開発地域とすることができる。
- b. 東北地域の生産力が低い地域においては、耕地地力の重点的な向上と、用排水施設の建設と改造によって生産力の高い近代的な食糧作物生産基地に改造する。
- c. 黄淮海平原の畑作地域においては、畑作節水農業技術の普及により、水資源の利用効率を高め、資源節約型農業開発の路線を歩む。
- d. 華南熱帯作物地域においては、人工造林の拡大によって天然ゴム生産基地の建設を加速する。
- e. 福建省沿岸地域においては、近代化農業を推進する。
- f. 南方の山地草地地域は草地の育成に努め、畜産業の発展を加速する。

③ 「適度開発区」

この地域は、農業生態系が非常に脆弱な状態におかれていることから、農村經濟開発・

（注8）『全国農村經濟社会發展“十一五”規画』中国統計出版社 2007年9月 101 ページ～122 ページ参照。

農家経済の発展との間に矛盾が発生しやすく、適当な計画立案が難しい地域である。具体的には、農業畜産混在地域、青海チベット高原地域、黄土高原地域、西南溶岩地域、西北砂漠化地域、東北湿原地域であり、いずれも農村環境、自然環境、生態環境に配慮した農業開発が必要とされる。

2. 主要作物の産地分布

さて、以下では、具体的にどのように農産物の産地形成がなされているのか、についてみてみよう。前述した「優先開発区」においては、小麦、トウモロコシ、綿花、サトウキビ等、主に重要農産物 13 種 41 品目の産地形成について具体的に述べられている。ここでは、その具体例として主要品目別に示す（注9）。

(1) 専用種小麦（パン、菓子用専用種小麦）

ほぼ全国で生産されるが、主に以下の 3 地域が重点的な生産地域である。黄淮海平原地域（河北省・山東省・河南省・陝西省・山西省・江蘇省・安徽省等 7 省 39 地区級市 82 県級市）、長江下流地域（江蘇省・安徽省・河南省・湖北省等 4 省 10 地区級市 20 県級市）、大興安嶺周辺地域（黒龍江省・内モンゴル自治区等 2 省 3 地区級市 11 県級市）である。とくに河南省、山東省、河北省、江蘇省、安徽省の 5 省が生産の中心であり、この 5 省の小麦作付面積は 2.3 億ムー（全体の 57.9%）、生産量は 6,807 万トン（全体の 68.3%）に達している。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①小麦の品質が低い。
- ②製品の品質が一定しない。
- ③生産コストが高い。
- ④企業的生産の育成が遅滞している。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①生産農民に対する補助制度を拡充する。
- ②優良品種の普及のために補助金制度を拡充する。
- ④ 中核的企業の育成を推進する。

発展目標としては、できるだけ早期に専用種小麦作付面積が小麦総作付面積の 40%前後に高め、2001 年より 20 ポイント高める。こうして、基本的に国内需要を満足し、東アジア地域への輸出に向けて競争力を高めていく。

(2) 専用種トウモロコシ

トウモロコシについては中国の生産量はアメリカに次いで多いが、専用種の生産は多くない。主に 2 地域が重点的な産地である。黄淮海平原地域（河北省・山東省・河南省等 3 省 33 地区級市 98 県級市）、東北・内モンゴル自治区地域（黒龍江省・内モンゴル自治区

（注9）農業部発展計画司編『優勢農産品区域布局規画匯編』中国農業出版社 2005 年 および「農業部發布優勢農産品区域布局規画（2003～2007 年）」農業部優質農産品信息网 2004 年 10 月 27 日

・吉林省・遼寧省等 4 省 26 地区級市 102 県級市) である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①専用品種が少なく、構造が不合理である。
- ②圃場のインフラ整備が遅滞しており、天候の影響を受けやすい。
- ③加工業の発展が遅滞している。
- ④主要産地と主要消費地が分離しており、供給に課題がある。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①生産農民に対する補助制度を拡充する。
- ②販売制度の改革を推進する。

発展目標としては、できるだけ早期に 2 地域の専用種トウモロコシの単収、総生産量を 20% 高め、専用種トウモロコシ作付面積がトウモロコシ総作付面積の 60% 前後に高める。こうして、中国北部からの輸出を増加させ、南部の輸入を抑制することによって、貿易における純輸出を拡大する。

(3) 大豆

近年中国の大豆の輸入量は急激に増大しているが、国内生産はやや停滞している。問題は国内産大豆の競争力が低いためであり、改善が求められている。主に 5 地域が重点的な産地である。松嫩平原地域、三江平原地域、吉林省中部地域、遼河平原地域、内モンゴル自治区地域等 4 省 30 地区級市 127 県級市である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①品種と技術の更新が遅れている。
- ②単収が低いなど生産条件が劣っている。
- ③優良品種の生産地が分散している。
- ④加工能力が過剰で、地域分布が不合理である。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①資金投入を増加させ、生産を拡充する。
- ②食糧リスク基金を改革し、大豆の所得保障に資金を使用できるように改変する。
- ③大豆加工産業を育成する。
- ⑤ 農業遺伝子組み替え作物管理条例を厳格に執行する。

発展目標としては、できるだけ早期に東北地域大豆の含油率を世界平均水準に引き上げ、さらに平均単収を 150kg 以上に引き上げる。

(4) 綿花

中国は世界最大の綿花生産国であり、消費国でもある。また最大の紡織品と服装の生産国であり、輸出国である。主に 3 地域が重点的な産地である。黄河流域地域（河北省・山東省・河南省・江蘇省・安徽省等 5 省 50 県級市）、長江流域地域（江漢平原・洞庭湖・鄱陽湖等 40 県級市）、西北地域（新疆ウイグル自治区・新疆兵団・甘肅省等 30 県級市）である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①綿花生産、加工施設とも小規模で、綿花圃場のインフラ整備も遅滞している。

- ②品質の悪い品種が多い。
- ③綿花加工産業の発展が遅れており、中間コストが高い。
- ④政府の綿花産業に対する支持が弱い。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①品質の高度化が急務である。
- ②綿花の企業的経営を育成する。
- ③情報量を増加させ、マクロコントロールを強化する。
- ④財政支持制度を拡充する。
- ⑥ 綿花農家組合組織を発展させる。

発展目標としては、できるだけ早期に3地域の綿花の単収をムーあたり 75kg に引き上げ、国内の紡織企業への供給を増加させる。

(5) アブラナ

中国は世界におけるアブラナの生産大国であり、現在世界生産量の3分の1を生産している。しかし需要も拡大しているため、輸入量が拡大しつつある。また国内産は含油量が低く、人体に悪影響を及ぼす物質の含有量も高いという問題がある。よって品種改良によって含油量が高く、悪影響の少ない品種の開発と普及が鍵となる。主に3地域が重点的な産地である。長江上流地域（四川省・貴州省・重慶市・雲南省等4省36県級市）、長江中流地域（湖北省・湖南省・江西省・安徽省・河南省等5省92県級市）、長江下流地域（江蘇省・浙江省等2省22県級市）である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①優良品種と一般品種の交雑が著しいため、優良品種の特性が生かせない。
- ②輸入品との比較で品質が劣っている。
- ③労働力コストが高い。
- ④加工企業が未発達で、能力が低い。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①優良品種に対する補助金制度を推進する。
- ②搾油業に対する専用財政基金の創設を推進する。
- ③中核企業の育成を援助する。
- ④遺伝子組み換えアブラナの管理を徹底する。

発展目標としては、できるだけ早期に長江流域のアブラナ産地を基本的に改良品種に切り替え、単収を高めることによって、菜種油の生産量を205万トン増加させる。結果として輸入量の減少をはかる。

(6) サトウキビ

中国はサトウキビの世界第3位の生産国であるが、世界の主要生産国との比較で単収が低く、糖の含有量が低く、加工工場が小規模で、技術が低い等の問題点を抱えており、このため徐々に国際競争力を失いつつある。今後の国内需要に拡大に対応するためにも、品種改良と産地形成が必要である。主に華南地域で生産されており、広西チワン族自治区・雲南省・広東省等3省18地区級市48県級市である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①生産規模が著しく小規模である。
- ②インフラ整備の整わない圃場での生産が大部分を占めている。
- ③技術水準が低い。
- ④科学技術の投入が著しく不足している。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①精糖企業の改革を推進する。
- ②国家備蓄を拡充するなどマクロコントロールを強化する。
- ③企業的経営の育成を推進する。
- ④国家的なサトウキビ生産の保護システムを構築する。

発展目標としては、できるだけ早期に新品種の導入により単収をムー当たり4トンから5トンに高め、あわせて糖含有率を13.3%から14.5%に高めることによって、国際水準に高める。

(7) 柑橘類

中国の柑橘類の生産量は世界第3位と多いが、オレンジ類が少ない、早生と晩生が少ない、生食用に偏り、加工用が少ない等の問題が存在している。また輸出量も少なく、果汁類はその多くを輸入に依存している。主に3地域が重点的な産地である。長江上中流地域（四川省・重慶市・湖北省等）、長江中流地域（湖南省・江西省・広西チワン族自治区等）、南部沿海地域（浙江省・福建省・広東省等）である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①生産規模が著しく小規模である。
- ②品種と成熟期が著しく偏っている。
- ③優良品種の普及が遅滞している。
- ④加工業との連携が不足している。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①生態環境建設とリンクし、「退耕還林」政策の補助金を支出する。
- ②優良品種の普及を強化する。
- ③財政・金融・リスク管理面での支持を推進する。
- ④科学技術の普及に努める。
- ⑤企業的経営を育成する。

発展目標としては、できるだけ早期に優良品種比率を現在の35%から50%以上に高め、ムー当たり単収も700kgから1500kgに高める。また、加工用品種は2000kg以上に高める。晩生種の比率を現在の20%から35%以上に高める。

(8) リンゴ

中国のリンゴ園面積とリンゴ生産量は、それぞれ世界の40%と33%と高いが、全体として単収と品質が低い、収穫後の鮮度維持管理が良好でない等の問題もある。主に2地域が重点的な産地である。渤海湾沿岸地域（山東省・遼寧省・河北省等3省12地区級市28県級市）、西北黄土高原地域（陝西省・山西省・河南省・甘粛省等4省11地区級市27県級

市) である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①加工用品種が少ない、早生種が少ない等の品種的な偏りが大きい。
- ②優良品種の供給システムの構築が遅れている。
- ③単収が低く、全体として品質がよくない。
- ④収穫後の貯蔵システムの建設が遅滞している。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①生産調整政策を推進する。
- ②市場整備等の投資を拡大する。
- ③企業的経営を育成する。

発展目標としては、できるだけ早期に主要産地 2 地域の優良品種比率を現在の 30% から 50% に高め、ムー当たり単収も現在の 0.6 トンから 1 トンに高める。優良品種比率の向上により、輸出量を現在の 30 万トンから 90 万トンに高める。

(9) 肉牛

中国はアメリカ、ブラジルなどと並んで世界有数の牛肉生産国であるが、飼養技術が低い、肉質の高い牛肉の比率が低い、出荷率が低い等の問題を抱えている。しかし、コストが低い、BSE の発生がみられない等の輸出拡大に有利な条件もある。主に 2 地域が重点的な産地である。中原地域（河南省・山東省・河北省・安徽省等 4 省 7 地区級市 38 県級市）、東北地域（遼寧省・吉林省・黒龍江省・内モンゴル自治区等 4 省 7 地区級市 24 県級市）である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

- ①生産水準が低く、品質が著しく劣っている。
- ②と畜加工施設建設が遅れている。

主要な政策課題としては以下の通りである。

- ①中核企業の育成を推進する。
- ②肉質の向上を推進する。
- ③優良品種の導入を推進する。

発展目標としては、できるだけ早期に主要産地 2 地域の牛肉生産量を 30% 以上高め、輸出を拡大する。

(10) 肉用羊

中国は世界第 1 の肉用羊生産国であるが、飼養技術が低い、肉質の高い羊肉の比率が低い、出荷率が低い等の問題を抱えている。主に 4 地域が重点的な産地である。中原地域（河南省・山東省・河北省・江蘇省・安徽省等 5 省 6 地区級市 20 県級市）、内モンゴル自治区中東部、河北北部地域（河北省・内モンゴル自治区等 2 省 2 地区級市 10 県級市）、西北地域（寧夏回族自治区・甘肅省・青海省・新疆ウイグル自治区等 4 省 5 地区級市 15 県級市）、西南地域（四川省・重慶市・雲南省・貴州省・広西チワン族自治区等 5 省 5 地区級市 16 県級市）である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

①生産水準が低く、品質が著しく劣っている。

②と畜加工施設建設が遅れている。

主要な政策課題としては以下の通りである。

①中核企業の育成を推進する。

②肉質の向上を推進する。

③優良品種の導入を推進する。

発展目標としては、できるだけ早期に主要産地 2 地域の牛肉生産量を 30%以上高め、輸出を拡大する。

(11) 牛乳

中国の牛乳生産は消費の拡大とともに急速に発展しているが、依然として年間 1 人当たり消費量は世界平均水準の 100kg にたいして 8kg とごくわずかである。酪農の発展も遅れており、飼養規模、乳量ともに低い。主に 3 地域が重点的な産地である。東北地域（黒龍江省・内モンゴル自治区等 2 省 12 地区級市 37 県級市）、華北地域（河北省・山西省等 2 省 10 地区級市 29 県級市）、都市近郊地域（北京市・天津市・上海市等 3 省市 13 県級市）である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

①優良品種の乳牛が不足している。

②飼料生産と加工システムが遅滞している。

③牛乳加工企業規模が著しく小さい。

④企業的経営の育成が遅滞している。

⑤品質管理システムの構築が遅滞している。

主要な政策課題としては以下の通りである。

①大規模な中核企業を育成し、企業的経営の育成を推進する。

②科学技術の進歩を加速し、産業としての発展水準を高める。

③品質検査システムを拡充し、乳製品の安全を確保する。

④合作経済組織を援助し、発展させる。

⑤積極的に市場を開拓し、国民の乳製品の消費拡大を進める。

発展目標としては、できるだけ早期に主要産地 3 地域の乳牛飼養頭数を 280 万頭に高め、平均搾乳量も 20%前後向上させる。

(12) 水産物

中国は世界の水産大国であり、養殖量は世界の 70%に達している。近年品質安全問題がしばしば課題となっている。主に 3 地域が重点的な産地である。東南沿海地域（浙江省・福建省・広東省・広西チワン族自治区・海南省等 5 省 28 地区級市 43 県級市）、黄海・渤海沿海地域（山東省・河北省・遼寧省等 3 省 9 地区級市 23 県級市）、長江中下流地域（江蘇省・安徽省・江西省等 3 省 11 地区級市 12 県級市）である。

現在の直面している課題としては、以下の通りである。

①品質の安全問題が突出した問題であり、輸出拡大の大きな制約となっている。

②優良品種の普及が遅滞しており、品質の悪い品種が多い。

③養殖生産における基礎インフラ建設が遅れている。

④養殖における病害の蔓延が深刻である。

主要な政策課題としては以下の通りである。

①資金を投入し、輸出用養殖基地の建設を推進する。

②政府が先頭に立って国際市場開拓を推進する。

③税の減免等、企業と漁民の負担を削減し、国際競争力を強化する。

発展目標としては、できるだけ早期に主要産地3地域の優良品種比率を現在の70%から80%に高める。

3. 特産農産物の産地育成

(1) 特産農産物発展政策

上述してきたのは、農産物の中でもとくに重要な農産物の産地分布を示したものであるが、中国農業部はこれに続いて、特産農産物の産地育成を一つの重要政策として実施している。そこで、以下ではこれについて2007年に発表された「特産農産物地域分布計画(2006～2015年)」(「特色農産品区域布局規画」2006～2015年)(注10)(以下、特産農産物分布計画と略す)からみてみよう。

特産農産物分布計画では、計画期間内に10種114品目の特産農産物の産地育成について計画している(詳細な産地一覧は別表参照)。

この計画の主な目的は各地域の特産物を開発し、地域経済を発展させる、いわゆる「一村一品」運動を進展させ、各地域の特産農産物の生産を振興し、地域経済の発展を促進するねらいがある。報道によると、2006年末には「一村一品」村はすでに中国全土で4万村に達しているというから、各村、各郷鎮ごとに特産物の産地化がかなり進んでいることがわかる(注11)。

この特産農産物の発展計画にかかわる産地育成の重点は以下の通りである。

①特産農産物品種の育成：特産農産物品種の保護、特産農産物新品種の開発、特産農産物優良品種の拡大。

②特産農産物産業の標準化と管理：特産農産物標準の制定、特産農産物品質の監督とコントロール、特産農産物生産モデル地域の建設。

③特産農産物の生産技術の向上と普及：特産農産物生産技術の研究開発、特産農産物加工・貯蔵技術の研究開発、特産農産物生産技術の訓練。

④特産農産物加工：特産農産物の伝統的加工技術の発展、特産農産物加工技術の高度化と深化。

⑤特産農産物のマーケティング：特産農産物専門市場の建設、特産農産物市場情報配信システムの建設。

(注10) 「特色農産品区域布局規画(2006～2015年)」中国農業信息网 2007年7月24日、参照。

(注11) 「農業部毎年推150個一村一品示範村、2006年底一村一品專業村已達4万多個」中国農業信息网 (<http://www.agri.gov.cn/>) 2007年9月28日から。

(2) 特産農産物生産の現状

中国の農産物資源は非常に広範であり、地域ごとに大きな相違が存在する。よって各地域では、その地域の所与の資源・気候・土壌状況等に基づき、さらに市場状況に依拠して、新たな特産物の開拓に努力し、農民所得の向上をはかってきた。こうした努力により、いくつもの特産農産物は地域経済の中心になっただけではなく、世界各国に輸出され、外貨収入を拡大してきている。

2018年の統計によれば、以下のような成果を上げるに至っている。

①食用菌類生産量は421.3万トンで、世界の生産総量の70%以上を占める。

②雑穀の年間生産量は5000万トン以上に達し、世界の生産総量の30%以上を占めている。

③茶葉の輸出量は28.7万トンに達し、輸出額は4.84億ドルに達した。

④ライチ、パイナップル、バナナ、ヤシ等の熱帯果樹の生産量は1105.7万トンに達している。

⑤繭の生産量は58.4万トンに達し、販売額は120億元に達している。

⑥花卉栽培面積は70万haに達し、花卉販売額は503.3億元に、輸出額は1.54億ドルに達した。

⑦漢方薬原料の栽培面積は121.3万ha、輸出量19.8万トン、輸出額2.8億ドルに達した。

⑧特産水産物の生産量は3393.3万トンに達し、輸出額は75.3億ドルに達した。

このように特産農産物の生産は拡大しているものの、課題も多い。

①生産規模が小さく、加工部門等が未成熟で、集約化と大規模化が著しく遅れている。

②技術水準が低く、研究部門への投資も少ない。優良品種比率が低く、加工技術も後れている。

③産業部門ごとに標準化が遅れており、市場への対応も遅れている。

④市場の発展が遅滞しており、特色ある農産物の販売に大きな問題が生じている。

(3) 特産農産物の産地分布

具体的な産地分布と発展目標、課題等は以下の通りである。

①特産野菜

現在中国では野菜全体としては、やや生産過剰傾向が発生しており、季節的、地域的にはそれが深刻化している。そこで各地域において地域の特殊性に基づいた特産野菜を発展させ、地域経済の活性化を図る。

a.レンコン：江漢平原、洞庭湖南部、千島湖および太湖、広西チワン族自治区中部、江蘇省北部、山東省黄河三角州。

b.コンニャク：四川・陝西省境武陵地域、雲南省・貴州省・四川省。

c.ジュンサイ：浙江省杭州、江蘇省呉県、重慶市石柱、湖北省利川、四川省雷波。

d.ラッキョウ：雲南省、湖北省、湖南省、江西省、浙江省天台。

e.サトイモ：雲南省中西部、広西チワン族自治区東北部、浙江省、福建省、湖北省、山東省東南部。

f.タケノコ：中国東南部、中国西南部、陝西省南部。

g.ワスレグサ（黄花菜）：甘粛省、陝西省、湖南省、貴州省、湖北省、河南省。

- h. ユリ：甘肅省、青海省、河南省西部、江蘇省、安徽省、江西省万載、湖南省隆回。
- i. オニビシ：広西チワン族自治区東北部、雲南省西部、浙江省、安徽省、江西省、湖北省中部。
- j. 黒キクラゲ：中国東北地域、浙江省、福建省、四川・陝西省境伏牛山間部、甘肅省南部、雲南省、広西チワン族自治区。
- k. 白キクラゲ（銀耳）：福建省、四川・陝西省境山間部、貴州省西北部。
- l. マツタケ：青海チベット高原東部、長白山一帯、河北省承德。
- m. トウガラシ：中国西南地域、湖南省、湖北省、河南省、陝西省、甘肅省、中国東北地域、黄淮海地域、海南省。
- n. 山椒：中国西南地域一帯、陝西省、甘肅省、青海省、チベット自治区東南部。
- o. ハッカク（八角）：広西チワン族自治区西南部、広西チワン族自治区東南部、雲南省東南部。

発展目標としては、できるだけ早期に、優良品種の普及率を 95% に高め、特産野菜の産地を各地に建設し、品種を拡大し、一部はブランドを形成する。

②特産果樹

果樹は生活水準の向上とともに国内需要が拡大しており、輸出も拡大傾向にあることから、今後有望な農産物ということが出来る。計画では、重点的に発展させる 25 種類の果樹を指定している。

- a. ブドウ：新疆ウイグル自治区、甘肅省、寧夏回族自治区、環渤海湾地域、黄河故道、汾渭平原、雲南省、吉林省。
- b. 特産ナシ：新疆ウイグル自治区南部タリム盆地（庫爾勒香梨）、山東省萊陽（萊陽梨）、河北省中部および山東省西北部（鴨梨）、河北省中部（雪花梨）、山東省・江蘇省・安徽省にまたがる黄淮平原（碭山梨）、河南省南部（砂梨）、吉林省延辺（リンゴ梨）、遼寧省沿海地域（南果梨・錦豊梨）、甘肅省河西回廊（リンゴ梨）、陝西省渭北および山西省中南部（酥梨）、北京市近郊（京白梨）、浙江省中部（砂梨）、重慶市南部（砂梨）、雲南省中南部（砂梨）。
- c. 特産モモ：北京市平谷、山東省西部平原、河北平原西部、陝西省・甘肅省中部、江蘇省、浙江省、上海市。
- d. サクランボ：遼寧省大連、河北省秦皇島、北京市近郊、山東省膠東半島、陝西省、甘出省中部。
- e. ザクロ：新疆ウイグル自治区南部、陝西省臨潼・礼泉、安徽省懷遠・淮北、四川省・雲南省高原地域、山西省南部。
- f. ヤマモモ：浙江省、福建省、江蘇省太湖周辺、安徽省歙県、湖南省靖州、雲南省石屏。
- g. ビワ：浙江省、福建省、広東省、湖北省、湖南省、広西チワン族自治区、四川省、雲南省、江蘇省吳中、安徽省歙県。
- h. 特産ザボン：福建省、広東省、江西省、広西チワン族自治区東北部、湖南省南部、浙江省中南部、湖北省、重慶市、雲南省。
- i. キウイフルーツ：陝西省、甘肅省、河南省、重慶市、湖南省、貴州省、湖南省、江西省、四川省中部。

- j.特産ナツメ：河北省、山東省西北部、黄土高原、甘肅省、新疆ウイグル自治区。
 - k.アンズ：河北省・山西省北部山地、甘肅省、陝西省東部。
 - l.特産クルミ：雲南省中西部、山西省、河北省、陝西省、甘肅省、青海省、チベット自治区東南部、新疆ウイグル自治区和田、山東省泰山、浙江省天目山。
 - m.クリ：北京市、天津市、河北省東北部、山東省丘陵地域、湖北省・安徽省大別山、江蘇省、安徽省丘陵地域、陝西省南部、湖北省西部、雲南省中部。
 - n.カキ：北京市、河北省太行山、山西省、河南省、陝西省、甘肅省、広西チワン族自治区北部、山東省中部。
 - o.アーモンド：新疆ウイグル自治区南西部
 - p.カヤの実：浙江省会稽山
 - q.リュウガン：福建省、広東省、海南省、広西チワン族自治区南部、雲南省、四川省瀘州。
 - r.ライチ：広東省、広西チワン族自治区南部、福建省東部、海南省、雲南省南部、四川省瀘州。
 - s.バナナ：福建省、広東省、海南省、広西チワン族自治区南部、雲南省。
 - t.オリーブ：福建省、広東省。
 - u.ヤシ：海南省。
 - v.カシューナッツ：海南省。
 - w.パイナップル：広西チワン族自治区西南部、福建省、広東省、海南省東部、雲南省南部。
 - x.マンゴー：広東省、広西チワン族自治区、海南省西部、雲南省、四川省、福建省南部。
 - y.パパイヤ：広東省、広西チワン族自治区、海南省、雲南省西南部、福建省南部。
- 発展目標としては、できるだけ早期に、60～80種の中国独特の特産品種を育成し、各地に産地を形成し、一部の品目ではブランドを形成する。また、生産・加工・販売の一貫したシステムを構築する。

③特産豆類、雑穀、搾油作物

中国は雑穀、搾油作物の品種が多く、それらの多くは多くの作物は乾燥に優れているため、中国北部、西北部でも栽培可能である。またいくつかの作物は重要輸出品でもあり、今後開発が待たれている。

- a.インゲン豆：雲南省、四川省、貴州省、重慶市、新疆ウイグル自治区、甘肅省、陝西省、黒龍江省、吉林省、内モンゴル自治区、山西省、河北省、山東省。
- b.緑豆：内モンゴル自治区、黒龍江省、吉林省、遼寧省、陝西省、山西省、河北省、山東省、河南省、安徽省、湖北省、四川省、重慶市、広西チワン族自治区。
- c.小豆：黒龍江省、吉林省、遼寧省、北京市、天津市、河北省、内モンゴル自治区、山西省、陝西省、甘肅省、湖北省、重慶市、雲南省。
- d.サヤインゲン：陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、河北省、山東省。
- e.ソラマメ：雲南省、四川省、重慶市、広西チワン族自治区、陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、青海省、山西省、河北省、江蘇省。
- f.エンドウ：甘肅省、寧夏回族自治区、青海省、四川省、重慶市、湖北省、雲南省、貴

州省、河北省、江蘇省。

g.ソバ：陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、内モンゴル自治区、山西省、雲南省、貴州省、四川省、重慶市、チベット自治区、広西チワン族自治区、安徽省。

h.エン麦：甘肅省、寧夏回族自治区、内モンゴル自治区、山西省、河北省、雲南省、四川省、貴州省。

i.ハダカムギ：チベット自治区、青海省、甘肅省、四川省、雲南省。

j.アワ：山西省、陝西省、甘肅省、内モンゴル自治区、河北省、遼寧省、黒竜江省、山東省。

k.キビ：陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、内モンゴル自治区、山西省、河北省、黒竜江省。

l.コウリャン（高粱）：黒竜江省、吉林省、遼寧省、内モンゴル自治区、陝西省、甘肅省、山西省、河北省、天津市、山東省、四川省、重慶市、貴州省、湖北省、広西チワン族自治区。

m.ハトムギ：雲南省、貴州省、広西チワン族自治区。

n.ビール大麦：新疆ウイグル自治区、甘肅省、陝西省、内モンゴル自治区、黒竜江省、江蘇省、河南省、安徽省、雲南省。

o.ホップ：新疆ウイグル自治区、甘肅省。

p.ゴマ：河南省、湖北省、安徽省、江西省、陝西省、重慶市。

q.アマ：甘肅省、内モンゴル自治区、寧夏回族自治区、山西省、河北省、新疆ウイグル自治区、陝西省。

r.ヒマワリ：黒竜江省、吉林省、遼寧省、内モンゴル自治区、山西省、陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区。

発展目標としては、できるだけ早期に、60～100種の特産品種を育成し、優良品種の普及率を95%以上に高める。各作物の加工度を高め、新たな需要を掘り起こし、輸出を拡大する。

④特産飲料

中国は茶にかんする歴史が悠久で、茶品種資源に富み、栽培も広範に及んでいる。しかし、現在農薬や重金属の残留問題が大きな課題となっている。またコーヒーは雲南省や海南省等で近年生産が拡大しているが、品質は低く、生産・加工技術にも開発の余地が大きい。

a.紅茶：安徽省南部、雲南省西部、広東省・広西チワン族自治区の一部。

b.ウーロン茶：福建省西北部、福建省南部、広東省東部。

c.プアール茶：雲南省西南部。

d.緑茶：安徽省黄山、江蘇省太湖、浙江省、福建省、広東省、広西チワン族自治区、海南省、四川省、貴州省、雲南省。

e.コーヒー：雲南省西南部、広東省雷州半島、海南省西北部。

発展目標としては、できるだけ早期に、全面的に近代的栽培方法を普及する。農薬と重金属の残留に留意し抑制する。加工技術を向上させ、ブランドを確立する。

⑤ 特産花卉

経済発展とともに花卉の需要は拡大しているが、中国の国内生産は資源保護、管理が不十分であること、品種構造が不合理であること、生産水準が遅れていること、花卉市場の建設が遅れていること等の問題を抱えている。

a. 切り花：雲南省中部、浙江省東北部。

b. 球根：福建省南部（水仙）、青海省東部（チューリップ、ユリ）、雲南省西北部（ユリ）、雲南省東北部（ユリ）、甘肅省中部（ユリ）、陝西省東部・西部（ユリ）、遼寧省凌源（ユリ、ショウブ）。

c. 盆栽：福建省沿海地域、浙江省中北部、広東省珠江三角洲、安徽省南部、江蘇省中南部。

発展目標としては、できるだけ早期に、特色ある花卉の新品種を開発・普及し、品種構造を高度化する。近代的な花卉の卸売市場を建設する。

⑥ 特産繊維作物

中国の養蚕業は生産規模が大きく、輸出量も多いが、桑畑が分散しており、品質検査水準も低いなどの問題を抱えている。

a. 生糸：広西チワン族自治区、四川省東部、重慶市南部、雲南省、江蘇省沿海部、浙江省西北部、安徽省西部、湖北省北部、江西省、広東省西北部、陝西省南部、甘肅省南部。

b. 苧麻：湖南省、湖北省、江西省、四川省東部。

c. アマ：黒竜江省、新疆ウイグル自治区イリ、甘肅省中東部、雲南省。

d. サイザル麻：中国華南。

発展目標としては、できるだけ早期に、特色ある繊維資源を開発・普及し、効率の高い生態系に配慮した繊維産業を発展させる。生産・紡織・販売を一体化した産業体系を建設し、国際競争力を高める。

⑦ 漢方薬原料

国際社会において中国の漢方薬がしだいに認知され、その需要は増大しつつある。問題点としては、生産技術が低いこと、市場管理の不備からニセ製品が市場に出回っていること、毎年の価格変動が大きいことなどがあげられる。

a. サンシチソウ（三七）：雲南省東南部、広西チワン族自治区西南部。

b. バイモ（川貝母）：四川省西部、チベット自治区東部、甘肅省南部。

c. ヤマイモの一種（懷山薬）：河南省焦作。

d. オニノヤガラ（天麻）：中国西南部、陝西省・四川省境山間部、湖北省西部、安徽省西部、湖南省西部。

e. 杜仲：陝西省・四川省境山間部、武陵山間部、大婁山間部。

f. クコ：寧夏回族自治区、内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区精河。

g. タイツリオオギ（黄芩）：内モンゴル自治区東部、黒竜江省北部、甘肅省南部、青海省東部、四川省西北部、陝西省中部、遼寧省東部、吉林省長白山、山東半島。

h. 朝鮮人參：吉林省長白山。

i. アキノタムラソウ（丹参）：甘肅省南部、四川省中江・青川、湖北省孝感、天津市薊

県。

j.林蛙：吉林省長白山、大興安嶺、小興安嶺。

k.ロクジョウ（鹿茸）：吉林省中南部、黒竜江省中南部、遼寧省北部。

l.トウキ（当帰）：雲南省西北部、甘肅省南部

m.ラカンカ（羅漢果）：広西チワン族自治区東北部。

n.朝鮮ゴミシ（北五味子）：中国東北地域。

o.浙貝母：浙江省中部。

p.センキュウ（川芎）：四川省成都。

q.金銀花：河南省新郷、山東省平邑、四川省巴中、広西チワン族自治区忻城。

発展目標としては、できるだけ早期に、特色ある漢方薬原料産地を建設する。漢方薬原料の原産地における種子資源の保護地域を建設する。

⑧特産草食家畜

中国は草地資源に恵まれており、資源面で発展の可能性は大きい。しかし、過放牧は生態環境の悪化をもたらしており、大きな問題をはらんでいる。また、加工技術が低い、飼養規模が小さい等の問題も多い。

a.ヤク：青海・チベット高原。

b.細毛羊：新疆ウイグル自治区北部、内モンゴル自治区中東部、河北省西北部、吉林省、黒竜江省西部。

c.カシミヤ山羊（絨山羊）：チベット自治区西部、内モンゴル自治区、陝西省北部、河北省北部、遼東半島、黒竜江省中北部、新疆ウイグル自治区西北部、甘肅省河西回廊、青海省チャダム。

d.チベット綿羊：チベット自治区、青海省、甘肅省南部、四川省西部、雲南省西北部。

e.灘羊：寧夏回族自治区中部、甘肅省中部、陝西省西北部。

発展目標としては、できるだけ早期に、健全な優良品種繁殖、防疫、市場情報等の支援体系を整備する。畜産物加工業を発展させ、国際標準規格に適合させ、国際競争力を有する加工企業を育成する。さらに、10あまりの草食畜産物ブランドを確立する。

⑨特産家畜

中国豚肉市場は基本的にバランスしているが、特色ある肉類の需要は今後も増大するものと考えられる。しかし、ブランド化の遅れ、過小な生産規模、加工能力不足等問題も多い。

a.金華豚：浙江省中西部、江西省東北部。

b.烏金豚：雲南省・貴州省・四川省境金沙江流域。

c.香豚：貴州省東南部、広西チワン族自治区西北部。

d.チベット豚：チベット自治区東南部、雲南省西北部、四川省西部、甘肅省南部。

e.特産ブロイラー：中国華北地域、長江中下流域、中国華南地域、中国西南地域、中国東北地域、中国西北地域。

f.特産家禽：長江中下流域、中国東南沿海、中国西南地域、黄淮海地域、東北地域松花江。

g.特産養蜂：中国東北地域、中国東南地域、華中地域、中国西部地域、華北地域。

発展目標としては、できるだけ早期に、健全な優良品種繁殖基地を建設する。また緑色食品に登録し、環境に優しい製品を生産する。加工業を発展させ、国際標準規格に適合させ、国際競争力を有する加工企業を育成する。

⑩特産水産物

水産物の需要は増大傾向にあり、今後も増大するものと見込まれている。しかし、禁止薬物の使用等安全問題の懸念も高まっている。

a.アワビ：遼寧省、山東省沿海地域。

b.ナマコ：遼寧省、河北省、山東省、江蘇省沿海地域。

c.ウニ：遼寧省、山東省沿海地域。

d.真珠：広西チワン族自治区、広東省、海南省、浙江省、江蘇省、江西省、安徽省、湖北省、湖南省。

e.桂魚：湖南省、湖北省、江西省、安徽省、江蘇省、浙江省、広東省。

f.マス：北京市、河北省、山西省、遼寧省、黒竜江省、雲南省、貴州省、四川省、甘粛省。

g.ギギ（長吻鮪）：四川省、重慶市、湖北省、江西省、安徽省、広東省。

h.テナガエビ（青蝦）：江蘇省、浙江省、安徽省、江西省、湖北省、山東省。

i.鋸縁青蟹：浙江省、福建省、広東省、広西チワン族自治区、海南省。

j.黄鰯魚：黒竜江省、遼寧省、江蘇省、安徽省、江西省、湖北省、湖南省、四川省。

k.タウナギ：江蘇省、安徽省、江西省、湖北省、湖南省、四川省。

l.イカ（烏鰹・墨魚）：江蘇省、浙江省、江西省、安徽省、湖北省、湖南省、山東省、広東省。

m.ナマズ（鯰魚）：遼寧省、山東省、江蘇省、江西省、湖北省、湖南省、四川省、広東省、広西チワン族自治区。

n.スッポン（亀鱉）：江蘇省、浙江省、江西省、湖北省、湖南省、広東省。

o.クラゲ：遼寧省、河北省、山東省。

発展目標としては、できるだけ早期に、安全に配慮した優良品種繁殖基地を建設する。またいくつかの国際競争力を有する加工・輸出企業群を育成し、国際市場で地位を固め、輸出を拡大する。

4. まとめにかえて

ここまでみてきたように、中国政府の農業生産振興策により、中国農業における産地形成が大きく進展している。これはより効率的な農業生産を達成するために必要不可欠な政策であり、地域振興とも密接に結び付いた政策でもある。すでに述べたように、東アジア地域における主要農産物供給国である中国の産地形成と特産化は、日本をはじめとする多くの国と地域において重要関心事であり、こうしたことから、今後、どのような進展をとげるのかが注目されよう。